

平成17年度 第20回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成17年12月20日(火) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、棚次副学長、国武副学長、羽田野事務局長、乗口外国語学部長、近藤文学部長、齋藤経済学部長、小野法学部長、高橋国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、赤塚学生部長、迎全学教務主事、山崎(克)産業社会研究所長、山崎(勇)国際教育交流センター所長

配布資料

- 1-1 副学長の選任について
- 1-2 学部選挙実施要領(案)、博士課程研究科選挙実施要領(案)
- 2-1～4 教員採用選考報告書、教員の割愛退職について
- 3 再任審査報告書
- 4 異文化語学教員任用制度
- 5-1 学年暦(学部、大学院)
- 5-2 昼休み時間の見直しについて
- 6-1 再入学制度改正の概要ほか
- 6-2 旧カリキュラム課程学生の復学の取り扱いについて
- 7 平成18年度予算編成について(案)
- 8 プロパー職員の採用について(案)

(冒頭、第19回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 副学長の選任及び学部長等の選考要領について

[副学長の選任について]

* 学長が選任する副学長を資料1-1のとおり提案。

○職員の定年の特例に関する規程6条1項により、役員を兼務する教員の定年は役員の任期の終了までとなっているので、念のため、了解いただきたい。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

〔 学部長等の選挙実施要領について 〕

* 学部選挙実施要領および博士課程選挙実施要領を資料1-2のとおり提案。

- 博士課程の場合、有権者は研究指導である常勤の教員であるが、同教員中には助教授がない。投票の管理は誰が担えばよいか。
- 助教授でなくとも、研究科長が指名した有権者が投票管理することとしたい。
- 海外留学、長期病欠の者はどういった扱いになるのか。
- 選挙が成立するために必要となる要件からは除くものとする。
- 投票日は何日になるのか。一同に会して選挙することになるのか。
- 学部長選挙については、1月16～18日11:00～13:00の間に教務課、管理課において投票し、18日の午後に開票を行う。

【議長】提案について、修正のうえ承認してよろしいか。また、各学部は選挙管理委員を総務課に連絡いただきたい。

【委員全員】（異議なし）

第2号 教員の採用及び退職について

* 文学部4月採用人事(英語・語学教師)について、選考委員会から、採用候補者(Joseph. J.Dilenschneider 元東洋大学文学部専任講師)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

(採用候補者について多様な意見が出され、慎重な審議がなされた。)

【議長】候補者を採用してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 法学部からの申請に基づき、1名の退職の承認について提案。

○退職に伴い、平成18年度に補充人事を行いたい。

【議長】この件も含め、提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 外国語学部の4月採用人事について、学部長から、候補者にふさわしい者がいなかったため、平成18年度に改めて選考委員会を設置することについて提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 基盤教育センター4月採用人事（英語教育を担当できる特任教員）について、選考委員会から、採用候補者（乗口眞一郎氏、現在本学外国語学部教授）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

（採用候補者について多様な意見が出され、慎重な審議がなされた。）

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* キャリア支援センター専任教員4月採用人事について、選考委員会から、採用候補者（真鍋和博氏、現在、株式会社リクルート キャリア支援事業開発室、中京大学総合政策学部非常勤講師）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

（採用候補者について多様な意見が出され、慎重な審議がなされた。）

- 実務経験者を教員として採用するにあたり、教歴換算の考え方はどのようになっているのか。
- 非常勤講師や講座の担当、教材開発の実績を踏まえ、さらに模擬授業などから総合的に判断した。
- 同じ実務経験者でも、①一般の教員と同じ教育研究を担う ②管理運営を中心とする ③実務中心の教育を行う など様々な役割があると考えられる。
- また、管理運営を中心とする教員については、学内で年俸制がふさわしいのではという意見も出ている。
- 今後事例を積み重ねながら、格付けや処遇について整理していきたい。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 任期付教員の再任について

* 平成18年3月31日付で国際環境工学部で任期が満了する任期制教員について、再任審査委員会からの再任審査報告がなされ、同報告に基づき、任期付教員の再任を資料3のとおり提案。

（再任審査対象者について多様な意見が出され、慎重な審議がなされた。）

【議長】再任について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 語学教員制度の改正について

* 異文化語学教員任用制度に対する意見について、各学部長等から報告

[外国語学部]

- ・「外国語教員」または「多文化教員」としてはどうか
- ・5年間の任期制導入は必要である。

[経済学部]

- ・制度には賛成である。
- ・「異文化語学教員」という名称は長すぎ、また意味不明な観もあるとの意見があった。

[文学部]

- ・任期制適用事由としての「語学教育の先端性と教育方法の特性」についてさらに具体的な説明をいただきたい。
- ・管理運營業務等は免除し、教育、研究に専念させるほうがよいのではないか。
- ・既存の所属学部から基盤教育センターに異動する際に、学部で担当していた専門科目の担当はどのような扱いになるのか。
- ・当事者の意見も十分に踏まえ慎重に対応いただきたい。

[法学部]

- ・制度の趣旨、運用等について明確に説明いただきたい。
- ・初回は現職語学教師に限るべきではないか。

[国際教育交流センター]

- ・基本的に賛成である。

[基盤教育センター設置準備委員会]

- ・英語教育の見直しと再編成にあたっては、語学教師さらに異文化語学教員の協力が必要である。カリキュラムの検討等にどういった形で参画可能なのか早急に決定いただきたい。

【議長】各学部の意見を踏まえ、次回あらためて検討するものとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 学年暦及び授業時間について

* 次年度の学年暦を資料5-1のとおり提案

* 昼休み時間の見直しについて資料5-2のとおり提案

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第6号 旧カリキュラム課程学生の復学の取り扱いについて

* 再入学制度改正に伴う学則の改正について、資料4のとおり提案

- 原則、試験等を課した上での再入学となるが、退学日から5年以内は試験を免除する旨を学則中にいれるべきではないか。
- その方向で再度、学則案を作成したい。

【議長】あらためて提案、審議するものとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 平成18年度予算案について事務局から報告があった。
- ② プロパー職員の採用案について事務局から報告があった。
- ③ 次回の審議会を1月10日（火）に開催する予定である旨、事務局から説明があった。